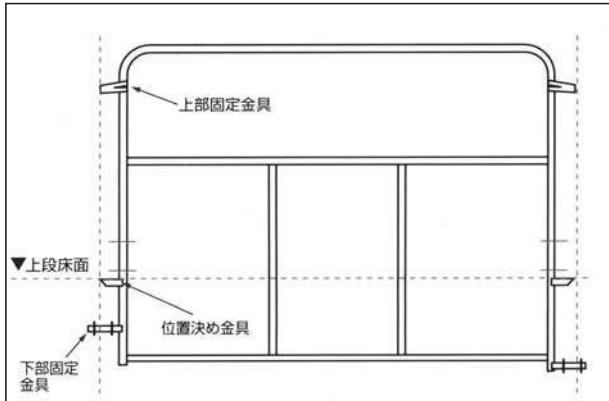


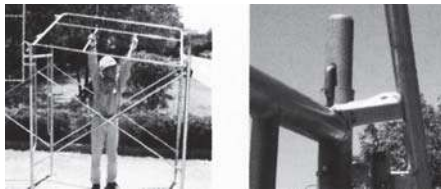
鋼製ビティガード(据置方式)



品番	スパン	重量(kg)
ST-6S	1829	10.3
ST-5S	1524	9.5
ST-4S	1219	8.8
ST-3S	914	7.6

組立手順

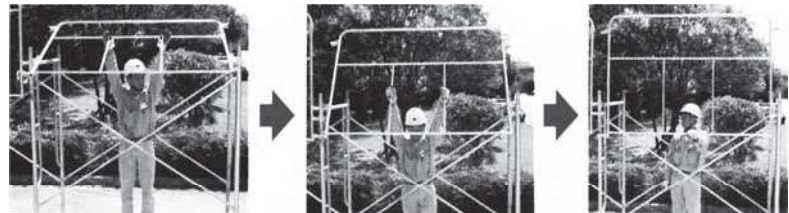
先行手摺枠を横に寝かし、位置決め金具を建枠の横地にあずけて下さい。



位置決め金具

※下部固定金具のクサビは事前に解除しておく事。

位置決め金具を両側ともあずけた事を確認し、補助材に手を沿わせながら先行手摺枠を起こします。

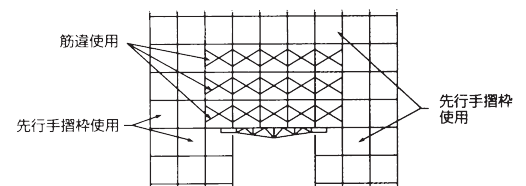


- 先行手摺枠下部を手前に引く感じでスライドして下さい。
- ※位置決め金具が横地から外れないよう注意してください。

組立時の注意事項

■道路側の筋違を取り外して使用する場合(筋違を追加した場合、この限りではない)

- ①床付き布わくを各層各スパンに用いること。
- ②組立後の足場の高さは45m以下とすること。
又、建枠(標準枠)の許容荷重は34.3kN以下とすること。
- ③梁枠を使用する場合、梁枠の上部3層以内に枠組足場用手すり枠を用いないこと。(右図参照)
- ④支保工には使用しないこと。



■筋違の有無に関係のない事項

- ①枠組足場用手すり枠を支時点・つり元・あずけ箇所にししない、又、乗らないこと。
- ②最上段に設置された枠組足場用手すり枠は、取り外さないこと。
- ③枠組足場用手すり枠の各部は、著しい損傷、変形又は腐食のないものとする。

■安全带取付設備として使用する場合

- ①枠組足場用手すり枠1枠につき1人の使用とすること。
- ②安全带ランヤードのフックは、枠組足場用手すり枠の手すり材にかけること。
- ③枠組足場用手すり枠を設置した作業床と衝突の恐れのある床面等との垂直距離が3.4m以下の場合、衝突について安全性を確認した上で使用すること。